



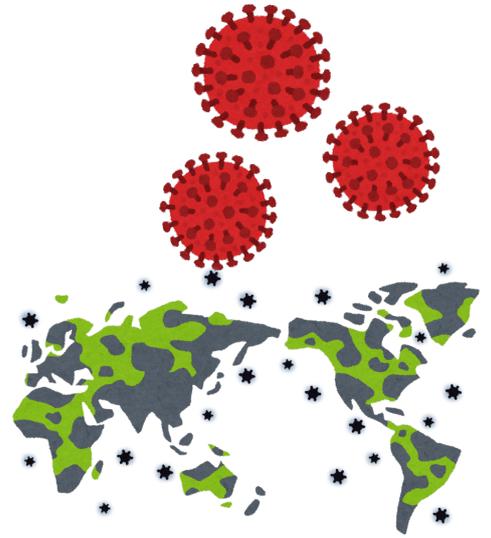
# 新年に寄せて

病院長 長倉和彦

## —コロナウイルス感染症の予防について—

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、2月から拡大したコロナウイルス感染症に明け暮れた1年でした。日本中が楽しみにしていた東京オリンピックも延期となり、とても大変で残念な1年でした。今回流行のコロナウイルスは新しい感染症であり、感染経路から症状、危険度、治るまでの経過、治ったあとの予後など、未知のことばかりで、世界中の人々が大変な不安に襲われました。この

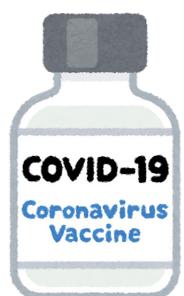


原稿を執筆している12月現在は、コロナ感染症第三波の真最中で、東京都では毎日600人以上の感染者が報告されています。これまでの累計感染者は50,000人ほどで、都民1,000人の内4人が感染したことになります。ただ、人それぞれ考え方や感じ方は様々で、感染しても多くは治癒していること、流行から10か月になり、行政の方針もはっきりせず、人ごとの

ように感じている人も多くいるように思います。国民全員が自身の行動を制御することができないと、国としての感染制御が困難になることの自覚が今とても重要です。家庭内で高齢者が感染するケースが増え、重症者も増加傾向なのは大変心配です。また医療機関でのクラスター発生が多発しており、医療崩壊寸前という状況に近づきつつあります。医療機

関での感染症発生は極めて深刻な影響を周囲に与えます。当院では患者様やご家族のご協力もいただきながら、職員一丸となって予防に取り組んでいますが、これまで院内発生が見られていないのは幸運なのかも知れません。

ご存じのようにコロナウイルスは口腔内に多く存在し、唾液や飛沫に沢山のウイルスが含まれています。感染者の皮膚、衣服もウイルス汚染しています。ですから、マスク着用のみではご自身の感染予防はできません。三密を避けることはとても大事ですが、外出したら、手摺りやつり革など、できれば自分以外のものには触れないことが大切です。勿論それを完全にこなすことはできませんので、物に触れたら手指消毒か手洗いをしてください。それと、人混みに出たり、人と会話したら、なるべくマスクを新しいものに替えること、帰宅したら衣服は風通しの良いところにかけて2、3日は放置しておくか、短時間でも良いので天日干しすると良いと思います。布製のマスクを使用している場合は、こまめに洗濯しないと感染予防にはなりませんので注意しましょう。何よりも、物に触れたとき、帰宅時と食前には、丁寧に手指を消毒することがもっとも大切ですので、徹底するよう心がけてください。



ここ1年間、コロナウイルス感染症対策のため全国の病院がこれまでにない労力を使ってきました。どこの病院でも職員は疲弊し、経済的にも困窮していますが、病院としてはできる限りの努力を続けていくしかありません。早く感染症が収束して、ワクチンも効果を発揮し、一日も早くこれまでの暮らしに戻ることを心から願っています。結果として、オリンピックも予定通り開催され、明るい話題が増えることを期待したいと思います。